

平成26年度肥後っ子いきいき読書環境づくり推進事業第一回講座

## 「本のお医者さん」



主催 熊本県立図書館  
期日 平成26年6月16日(月)  
会場 熊本県立図書館3階大研修室  
参加者 午前45名 午後42名  
(参加申し込み 午前59名 午後49名)

講師

兵庫ナカバヤシ株式会社 資料修復課

平山 剛 氏

西坂 健 氏



## 参加者の感想より（一部抜粋）

- 専門的なお話を聞くことができよかった。修理、修復などには長期的な目で考え、安易にテープなどではなおしてはいけないなと思いました。
- 大切な資料の保存、管理に携わる、地道な作業が新鮮でした。
- 個々の本の状態によって修復法の違いがあるなど、初めて知ったことが多かったです。いつも対処療法的な方法でやっていましたが、きちんと本の構造を考慮しなければいけないことがよくわかりました。
- 職人技が本当に素晴らしかったです。本が生き返りました。
- 破損したものはあきらめていましたが、できる範囲で修理して利用者に長く愛読いただけるよう努力していきたいと思います。
- 今後は破損した本をセロハンテープでの補修はやめ、和紙での修復にチャレンジします。
- 学校図書館は基本、保存図書館ではないと言われていました。しかし、貴重書の取り扱いや日常のちょっとした修理に対応できると思い、今回の研修はとても勉強になりました。
- 本の修理は仕事にすぐ役に立ち、ありがたいテーマでした。なかなか研修の機会がなかったので、勉強になりました。
- 破損がひどいと諦め廃棄処分としていましたが、正しい修理方法を教わり修復でき、また生きた本として手に取ることができることに喜びを感じました。出来るだけ修理して、本の大切さを子供たちにも伝えたいと思います。

※研修会に参加した皆様からの質問の中で、当日お答えできなかったものに対して、講師の先生から後日ご返答いただきましたので、ここに載せておきます。

Q. 製本の際に使用している糸の規格を教えてください。

A. 麻糸 トスコラミーヤン(太い方) 450 g 16×6 (16番の糸が6本縫られている)  
麻糸 トスコラミーヤン(細い方) 225 g 30×3 (30番の糸が3本縫られている)  
綿糸 8番